

『クルーグマン入門経済学』

理解度チェック 解答

Chapter1	最初の原理	2
Chapter2	経済モデル：トレードオフと取引	4
Chapter3	供給と需要	7
Chapter4	消費者余剰と生産者余剰	10
Chapter5	価格統制と割当て：市場へのおせっかい	14
Chapter6	国際貿易	19
Chapter7	意思決定	24
Chapter8	公共財と共有資源	28
Chapter9	マクロ経済学：経済の全体像	33
Chapter10	GDP と CPI：マクロ経済を追跡する	36
Chapter11	失業とインフレーション	39
Chapter12	長期の経済成長	41
Chapter13	貯蓄、投資、金融システム	44
Chapter14	総需要と総供給	47

Chapter1 最初の原理

理解度チェック 1-1

1. a. 機会費用の概念を表している。一度に食べられる量は決まっているので、チョコレート・ケーキをもう一切れとるためには、何か他のもの、たとえばココナッツ・クリームパイをもう一切れとることをあきらめることが必要だ。
 - b. 資源は希少だという概念を表している。世界にもっと資源があったとしても、その総量は限られている。だから、資源の希少性はいずれあらわになる。希少性がなくなるのは（人生の時間も含めて）あらゆるものが無限にあるときだけだ。そんなことは明らかにありえない。
 - c. 人々は通常、自分が利益を得る機会を見逃さないという概念を表している。学生たちが評判のよい教育助手の指導を求め評判の悪い教育助手を避けるのは、それが自分の利益になるからだ。また、資源は希少だという概念を表しているともいえる。よい教育助手が指導する教室が無限に広ければ、教室がいっぱいになるということもないはずだ。
 - d. 限界分析の概念を明らかにしている。時間をどう配分するか、すなわち運動と勉強にそれぞれどのくらい時間を割くかという決定は、「どれくらいか」の決定だ。あなたは、もう1時間運動をすることで得られる便益と、勉強時間が少なくなることで成績が下がるという費用とを比較して決定を下すのだ。
-
2. a. 答えはイエスだ。あなたが新しい仕事を引き受けた場合、通勤時間が長くなるのはそれによって生じる費用だ。長くなった通勤時間——同じことだが、その時間を使えばできたはずの別のこと——は新しい仕事の機会費用だ。
 - b. 答えはイエスだ。新しい仕事から得られる便益の1つは5万ドルを稼げることだ。だが新しい仕事を選ぶならいまの仕事をやめて現在の給料4万5000ドルを手放さなくてはならない。この4万5000ドルは新しい仕事を選ぶことの機会費用の一部になる。
 - c. 答えはノーだ。事務室が広くなるのは新しい仕事から得られる便益であって、そのせいで何かが犠牲になっているわけではない。だからそれは機会費用ではない。

理解度チェック 1-2

1. a. 取引は利益をもたらすという概念を表している。学生たちは科目ごとに異なる能力

をもっているのだ、それに基づいて個人指導サービスを取引しているのだ。

- b. 市場が効率を達成しない場合には、政府の介入が社会的厚生を高める可能性があるという概念を表している。この例では、市場に任せておけばバーやナイトクラブがやかましい音楽という費用を近所の人々に押しつけ、それを一顧だにしないという事態になる。これは効率のよくない事態だ。なぜなら、バーやナイトクラブが騒音を抑えるように仕向けることができれば、社会全体の厚生は改善されるからだ。
 - c. 社会的目標を達成するため、資源はできるだけ効率的に用いられなければならないという概念を表している。近所の診療所を閉鎖して中央病院に資金を移すことで、より低い費用でよりよい医療を提供することができるからだ。
 - d. 市場は均衡に向かうという概念を表している。いたみの度合いが同じである同じタイトルの本が同じ値段で売られていれば、売り手も買い手も取引をやり直すことで利益をあげることはできない。これは、中古の本の市場が均衡に達していることを意味するものだ。
2. a. 均衡を表していない。行動を変えてレストランで食事をとりたいと思う学生がたくさんいるはずだ。均衡が成立するのは、学生たちがレストランで食べても大学の食堂で食べてもどちらでもよいと思うときだ。それには、たとえば大学の食堂の料金がレストランの料金よりも高くなる必要がある。
- b. 均衡を表している。行動を変えてバスに乗ることにしても、あなたの生活はよくなるだろう。だから、行動を変えるインセンティブは存在しないのだ。

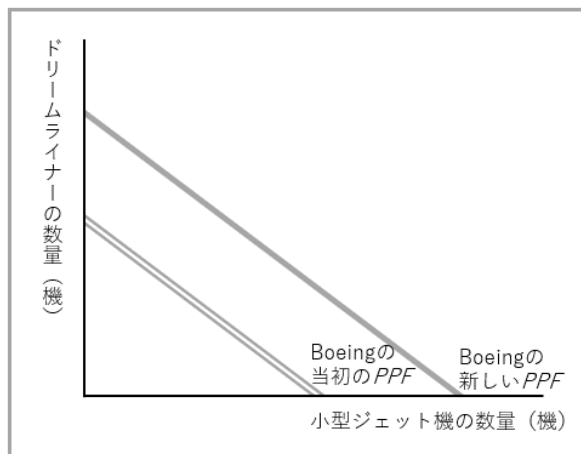
理解度チェック 1-3

1. a. これは、経済の潜在生産力の向上が長期的な経済成長につながるという原理を示している。ソーラーパネルが安くなれば、エネルギーコストが下がり、経済の潜在生産力が高まり、経済成長が促進される。ソーラーパネル・メーカーは有利になるが、競合するエネルギーを生産する企業は不利になる。
- b. これは、経済全体の支出が経済の生産能力と釣り合わなくなることがある、という原理を示している。減税は人々の税引き後の所得を増やし、個人消費の増加につながる。
- c. ある個人の支出は、他の個人の所得になるという原理を表している。石油会社が労働者をレイオフ（一時解雇）したり給料を減らしたりするなどして労賃に費やすお金が少なくなると、こうした労働者の所得が下がる。すると、彼らは消費支出を減らし、レストランや他の消費者向けビジネスの所得も減る。

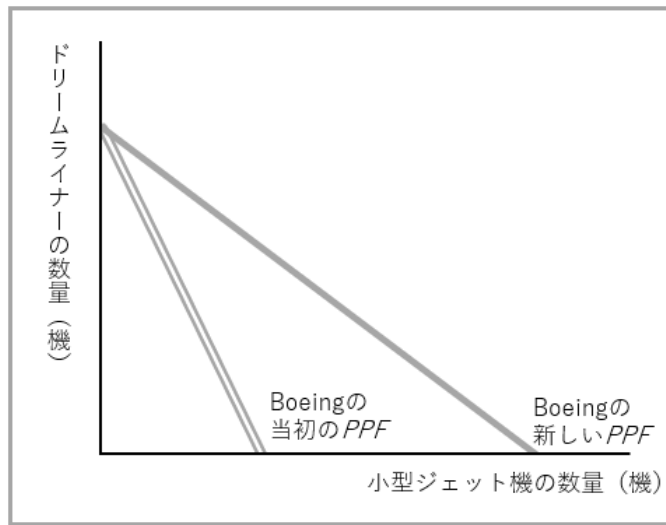
Chapter2 経済モデル：トレードオフと取引

理解度チェック 2-1

1. a. 誤り。ドリームライナーと小型ジェット機の生産に使える資源が増えれば、Boeing の生産可能性フロンティアは外側にシフトするだろう。いまや Boeing はドリームライナーと小型ジェット機を前よりも多く生産できるからだ。次の図で「Boeing の当初の *PPF*」と書かれた直線は当初の生産可能性フロンティアで、「Boeing の新しい *PPF*」と書かれた直線は資源の増加によって生じた新しい生産可能性フロンティアだ。



- b. 正しい。Boeing が製造するドリームライナーの機数に対してより多くの小型ジェット機の製造を可能にするような技術変化は、生産可能性フロンティアの変化をもたらす。これは図で次のように示されている。新しい生産可能性フロンティアは「Boeing の新しい *PPF*」と書かれた直線で表され、当初の生産可能性フロンティアは「Boeing の当初の *PPF*」と書かれた直線で示されている。Boeing が最大限製造できるドリームライナーの数量は以前と変わらないので、新しい生産可能性フロンティアは当初の生産可能性フロンティアと同じ点でタテ軸と交わっている。だが小型ジェット機の最大限の製造数は以前よりも増えているから、新しい生産可能性フロンティアは当初の生産可能性フロンティアよりも右でヨコ軸と交わることになる。



- c. 誤り。生産可能性フロンティアは、生産の際に資源が効率的に利用されているという前提のもとで、一方の財の生産量を増やすために他方の財の生産量をどれだけ減らさなければならないかを表すものだ。もしその経済で生産が効率的に行われていなければ、すなわち生産点が生産可能性フロンティアの内側にあるときには、一方の財の生産量をもう 1 単位増やすためにもう一方の財の生産量を減らす必要はない。それどころか、もっと効率的に生産すれば両方の財の生産量を増やせるはずだ。
2. a. アメリカは自動車の生産に絶対優位をもっている。アメリカで 1 日に 1 台の自動車を生産するのに必要な労働者数 (6 人) はイタリアで必要な労働者数 (8 人) よりも少ないからだ。アメリカは洗濯機の生産でも絶対優位にある。アメリカで 1 日に 1 台の洗濯機を生産するのに必要な労働者数 (2 人) はイタリアで必要な労働者数 (3 人) より少ないからだ。
- b. イタリアでは自動車で測った洗濯機の機会費用は $3/8$ だ。つまり、洗濯機 1 台を生産するのに必要な労働者数と時間を使って $3/8$ 台の自動車が生産できるというわけだ。アメリカでは自動車で測った洗濯機の機会費用は $2/6 = 1/3$ となる。つまり、洗濯機 1 台の生産に用いられる労働者数と時間を使って $1/3$ 台の自動車が生産できる。 $1/3 < 3/8$ だから、アメリカは洗濯機の生産に比較優位をもつといえる。洗濯機 1 台を増産するのに、アメリカでは自動車 $1/3$ 台を減産すればすむが、イタリアでは自動車 $3/8$ 台を減産しなければならない。これはイタリアが自動車に比較優位をもっているということだ。このことは次のようにして確認できる。洗濯機で測ったイタリアの自動車の機会費用は $8/3$ となる。つまり、イタリアでは自動車 1 台の生産に必要な労働者数と時間で $8/3$ 台の洗濯機が生産できる。これに対して、洗濯機

で測ったアメリカの自動車の機会費用は $6/2=3$ となる。つまり、アメリカでは自動車 1 台の生産に必要な労働者数と時間で 3 台の洗濯機が生産できるのだ。 $8/3 < 3$ だから、イタリアは自動車の生産に比較優位をもつといえる。

- c. 各国がそれぞれ比較優位をもつ財の生産に特化するとき、最大の貿易利益が得られる。だからアメリカは洗濯機に、イタリアは自動車に特化すべきだ。

3. アメリカの大型ジェット機 10 機とブラジルの小型ジェット機 15 機の取引では、ブラジルは自国で大型ジェット機も製造するときより、小型ジェット機を手放す量は少なくてすむ。取引をしない場合、ブラジルは大型ジェット機 1 機を増産するのに小型ジェット機 3 機を減産しなければならない。取引する場合、ブラジルはアメリカから大型ジェット機 1 機を輸入するのに小型ジェット機 1.5 機を輸出すればよい。同様に、アメリカにとっては、自国で小型ジェット機も製造するときより、大型ジェット機を手放す量は少なくてすむ。取引をしない場合、アメリカは小型ジェット機を 1 機増産するのに大型ジェット機を $3/4$ 機減産しなければならない。取引する場合、アメリカはブラジルから小型ジェット機 1 機を輸入するのに大型ジェット機 $2/3$ 機を輸出すればよい。

4. 家計が使う貨幣量が増えれば、家計に向かう財のフローが増える。これは企業の生産要素に対する需要を増加させる。だから経済全体のはたらき口が増えるのだ。

理解度チェック 2-2

1. a. これは社会がしなくてはならないことを述べているのだから、規範的な命題だ。しかも、「正しい」答えはないかもしれない。果たして人は危険な行動をとることをすべて妨げられるべきだろうか。たとえばスカイダイビングのような、楽しまれている行動でもそうだろうか。答えは個人の人生観に依存している。
- b. これは事実の記述だから、解明的命題だ。
2. a. 正しい。経済学者たちは特定の社会的目標の望ましさについて異なる価値判断をもつことがある。しかし価値判断がちがっていても、社会がいったんある目標を追求すると決めたなら、その実現のためにもっとも効率的な手段を用いるべきだとする点では一致することが多い。だから、経済学者たちは政策 B の選択に合意するといえる。
- b. 誤り。経済学者たちの意見が分かれるのは、異なるモデルを用いているか、あるいは政策の望ましさについて異なる価値判断をもっているかによることが多い。

Chapter3 供給と需要

理解度チェック 3-1

1. a. 住宅の供給量が増えたのは価格の上昇によるものだ。これは供給曲線に沿った移動だ。
- b. イチゴの供給量はどんな価格水準でも増加する。これは供給曲線の右へのシフトを意味している。
- c. 労働の供給量は、どんな賃金水準でも低くなっている。学校が休みのときにくらべて、供給曲線が左にシフトしているのだ。だから、ファストフードのチェーン店が労働者を確保しようと思うなら、賃金を上げる必要があるのだ。
- d. 労働の供給量が増えるのは賃金の上昇によるものだ。これは供給曲線に沿った移動だ。
- e. 客室の供給量は、どんな料金のもとでも増加する。これは供給曲線の右へのシフトだ。

理解度チェック 3-2

1. a. 価格がどうであれ、傘の需要量は雨の日のほうが晴れの日よりも多い。どんな価格水準でも需要量が増えるので、需要曲線が右にシフトすることになる。だから、どの数量をとっていてもより高い価格で売れるのだ。
- b. カリブ海の夏のクルージングが増えたのは料金の値下げによるものだ。これはカリブ海の夏のクルージングに対する需要曲線に沿った移動だ。
- c. バレンタインデーの週にはバラの需要が増加する。これは需要曲線の右へのシフトだ。
- d. ガソリンの需要が減ったのは価格の上昇によるものだ。これは需要曲線に沿った移動だ。

理解度チェック 3-3

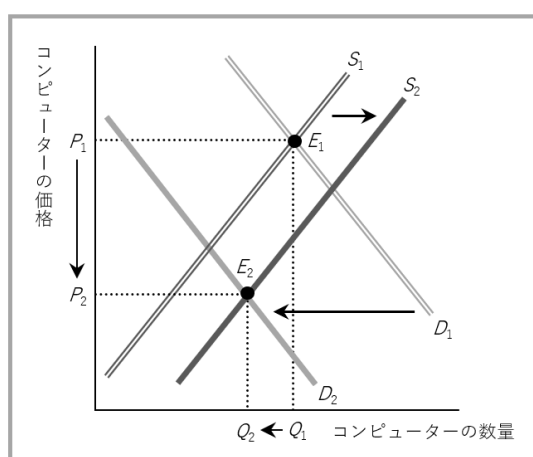
1. a. 供給曲線が左にシフトする。前年の均衡価格では、ブドウの需要量は供給量を上回

る。これは供給不足のケースだ。ブドウの価格は上がるだろう。

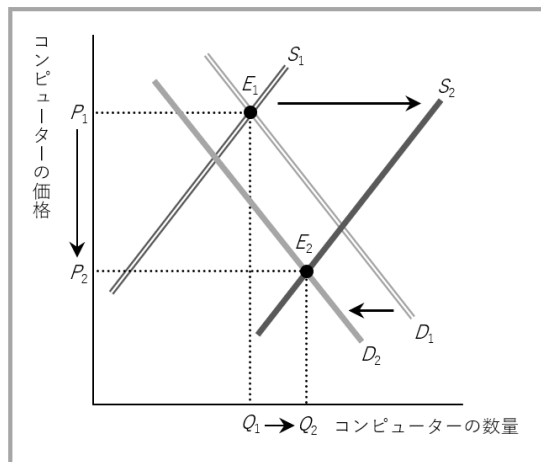
- b. 需要曲線が左にシフトする。当初の均衡価格では、ホテルの部屋の供給量は需要量を上回る。これは供給過剰のケースだ。宿泊料金は下がるだろう。
- c. 中古の除雪機の需要曲線が右にシフトする。当初の均衡価格では、中古の除雪機の需要量は供給量を上回る。これは供給不足のケースだ。中古の除雪機の均衡価格は上がるだろう。

理解度チェック 3-4

- 1. a. 大型車の市場。ガソリンという補完財の値下げによって需要曲線の右へのシフトが生じる。その結果大型車の均衡価格は上がり、売買される大型車の均衡数量も増えるだろう。
 - b. リサイクルされた素材からつくられる新生紙の市場。これは技術革新によって供給曲線が右にシフトするケースだ。その結果、リサイクルされた素材からつくられる新生紙の均衡価格は下がり、売買される均衡数量は増加するだろう。
 - c. 地域の映画館で上映される映画の市場。地域のケーブル会社による有料映画視聴という代替財の価格下落によって、需要曲線が左にシフトする。このシフトの結果、映画のチケットの均衡価格は下がり、映画館に行く人たちの数も減るだろう。
2. 新しいチップの発売が公表されると、従来のチップを用いたコンピューターの需要が減少し需要曲線は左にシフトする。また、供給は増加し供給曲線は右にシフトする。
- a. もし需要曲線が供給曲線にくらべて大幅にシフトするようであれば、次の図に示したように均衡需給量は減少する。



もし供給曲線が需要曲線にくらべて大幅にシフトするようであれば、次の図に示したように均衡需給量は増加する。



b. どちらの場合にも、均衡価格は下がる。

Chapter4 消費者余剰と生産者余剰

理解度チェック 4-1

1. a. 消費者は、ハラペーニョの価格が自分の支払い意欲額よりも低い（あるいはちょうど等しい）なら、そのハラペーニョを買う。需要表は、それぞれの価格水準で何個のハラペーニョが必要されるかを調べることで作成される。下の表は需要表を例示したものだ。

ハラペーニョの 価格（ドル）	ハラペーニョの 需要量	テレサのハラ ペーニョの需要 量	アザールのハラ ペーニョの需要 量
0.90	1	1	0
0.80	2	1	1
0.70	3	2	1
0.60	4	2	2
0.50	5	3	2
0.40	6	3	3
0.30	8	4	4
0.20	8	4	4
0.10	8	4	4
0.00	8	4	4

- b. 価格が 0.40 ドルのとき、テレサが 1 個目のハラペーニョから得る消費者余剰は 0.50 ドル、2 個目から得る消費者余剰は 0.30 ドル、3 個目からは 0.10 ドルだ。彼女はそれ以上のハラペーニョは買わない。だから、テレサの個別消費者余剰は 0.90 ドルになる。アザールが 1 個目のハラペーニョから得る消費者余剰は 0.40 ドル、2 個目から得る消費者余剰は 0.20 ドル、3 個目からは 0.00 ドルになる（価格が彼の支払い意欲額とちょうど等しいので、3 個目のハラペーニョを買っても消費者余剰は増えない）。彼はそれ以上のハラペーニョは買わない。だからアザールの個別消費者余剰は 0.60 ドルだ。よって、価格が 0.40 ドルのときの総消費者余剰は、0.90 ドル + 0.60 ドル = 1.50 ドルになる。

理解度チェック 4-2

1. a. 生産者は、ハラペーニョの価格がそれを生産する費用よりも大きい（あるいはちょうど等しい）なら、そのハラペーニョを供給する。供給表は、それぞれの価格水準で何個のハラペーニョが供給されるかを調べることで作成される。次の表は供給表

を例示したものだ。

ハラペーニョの 価格（ドル）	ハラペーニョの 需要量	カーラのハラ ペーニョの需要 量	ジェイミーのハ ラペーニョの需 要量
0.90	8	4	4
0.80	7	4	3
0.70	7	4	3
0.60	6	4	2
0.50	5	3	2
0.40	4	3	1
0.30	3	2	1
0.20	2	2	0
0.10	2	2	0
0.00	0	0	0

- b. 価格が 0.70 ドルのとき、カーラが 1 個目のハラペーニョから得る生産者余剰は 0.60 ドル、2 個目から得る生産者余剰は 0.60 ドル、3 個目からは 0.30 ドル、4 個目からは 0.10 ドルだ。彼女はそれ以上のハラペーニョは供給しない。だから、カーラの個別生産者余剰は 1.60 ドルだ。ジェイミーが 1 個目のハラペーニョから得る生産者余剰は 0.40 ドル、2 個目から得る生産者余剰は 0.20 ドル、3 個目からは 0.00 ドルになる（価格が費用とちょうど等しいので、3 個目のハラペーニョを売っても生産者余剰は増えない）。彼はそれ以上のハラペーニョは供給しない。だからジェイミーの個別生産者余剰は 0.60 ドルだ。よって、価格が 0.70 ドルのときの総生産者余剰は $1.60 \text{ ドル} + 0.60 \text{ ドル} = 2.20 \text{ ドル}$ になる。

理解度チェック 4-3

1. 需要量と供給量は価格が 0.50 ドルのところで等しくなる。これが均衡価格だ。この価格では、総計 5 個のハラペーニョが売買される。テレサは 3 個のハラペーニョを買
い、1 個目からは 0.40 ドル、2 個目からは 0.20 ドル、3 個目からは 0.00 ドルの消費者
余剰を得る。アザールは 2 個のハラペーニョを買
い、1 個目からは 0.30 ドル、2 個目
からは 0.10 ドルの消費者余剰を得る。よって総消費者余剰は 1.00 ドルだ。カーラは 3
個のハラペーニョを供給し、1 個目からは 0.40 ドル、2 個目からは 0.40 ドル、3 個目
からは 0.10 ドルの生産者余剰を得る。ジェイミーは 2 個のハラペーニョを供給し、1
個目からは 0.20 ドル、2 個目からは 0.00 ドルの生産者余剰を得る。したがって総生産
者余剰は 1.10 ドルだ。よって、この市場の総余剰は $1.00 \text{ ドル} + 1.10 \text{ ドル} = 2.10 \text{ ドル}$
になる。
2. a. アザールのハラペーニョの消費が 1 個減るなら、彼は 0.60 ドル（彼が 2 個目のハ

ラペーニョに支払ってもよいと思う額だ)を失うことになる。テレサのハラペーニョの消費が1個増えるなら、彼女は0.30ドル(彼女が4個目のハラペーニョに支払ってもよいと思う額だ)を得る。よって全体として、 $0.60 \text{ ドル} - 0.30 \text{ ドル} = 0.30 \text{ ドル}$ の消費者余剰の損失をもたらす。

- b. カーラが最後のハラペーニョ(3個目のハラペーニョ)を生産するのにかかる費用は0.40ドルで、ジェイミーが1個多く(3個目のハラペーニョ)生産するのにかかる費用は0.70ドルだ。よって総生産者余剰は $0.70 \text{ ドル} - 0.40 \text{ ドル} = 0.30 \text{ ドル}$ 低下する。
- c. アザールが2個目のハラペーニョに支払ってもよいと思う額は0.60ドルだ。彼がハラペーニョの消費を1個少なくしたときに、彼はこの額の余剰を失うことになる。カーラが3個目のハラペーニョを生産するのにかかる費用は0.40ドルだ。彼女は生産を1個少なくすることでこの分を節約できる。よってハラペーニョの量を1個減らすと、 $0.60 \text{ ドル} - 0.40 \text{ ドル} = 0.20 \text{ ドル}$ の総余剰が失われることになる。

- 3. 新しいガイドラインによって腎臓を受け取った人の総寿命は短くなるだろう。なぜなら、小さな子どもがいる人は当初のガイドラインよりも腎臓を獲得できる確率が高くなるからだ。この結果、総余剰は減少するだろう。この新しいガイドラインは公正を実現するために効率性の犠牲をとまうものだが、小さな子どもたちが親を亡くすことを減らすという点では望ましい目標なので、容認可能であり正当化される。

理解度チェック 4-4

- 1. これらの権利が分離されているとき、地上権も鉱物権も所有している人は、地上権の市場と鉱物権の市場で分けて売ることができる。すると、両市場は効率的になるだろう。その理由は次のとおりである。地上権の市場価格が売り手の費用よりも高ければ、売り手はその権利を売るので総余剰は増大する。鉱物権の市場価格が売り手の費用よりも高ければ、売り手はその権利を売るので総余剰は増大する。ところが、2つの権利を別々に売却できないときには、売り手は両方の権利をまとめて売却するか両方とも売らないという選択肢しかない。売り手が鉱物権を高く評価し(つまり、権利を売するのに費用がかさむということだ)、地上権はそこまで高く評価していない状況を想像してみよう。2つの権利が分離しているとき、それらの権利の保有者は(総余剰が増大する)地上権は売れるけれど、鉱物権は売らないかもしれない。けれども、2つの権利を別々に売却できないときで、しかも権利保有者が鉱物権を非常に高く見積もっているとき、彼女はどちらの権利も売らないことにするかもしれない。このケースでも地上権の売却で余剰がうまれる可能性はあるものの、それは夢に終わるだろう。その理由

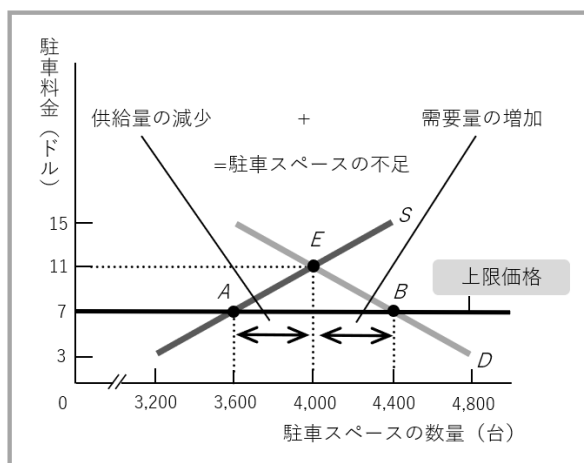
は2つの権利を別々に売却できないことにある。

2. 本を売りたいと思う売り手はたくさんいるだろうが、その価格で本を買いたいと思う買い手はごく少数だろう。結果として、現実に行われる取引はほとんどなく、相互に便益があったはずの多数の取引が行われまいだろう。もちろんこれは非効率だ。
3. 残念ながら市場は常に効率性をもたらすわけではない。市場の失敗があるとき、市場がもたらす結果は非効率かもしれない。主に3つの原因からこうしたことが起こる。市場が失敗する第一の場面は、たとえば独占者のような団体がより多くの余剰を得ようとして、相互に利益がある取引が行われまいようにするときだ。市場が失敗する第二の場面は、一個人の行為が他人の厚生に副次的効果をもたらすとき、すなわち外部性があるときだ。市場が失敗する第三の場面は、財自体——それに関する情報に私的なものがあるような財——が市場によって効率的に管理されるのに適さないものであるときだ。市場が効率性を達成できないとき、政府介入によって社会厚生は改善される。

Chapter5 価格統制と割当て：市場へのおせっかい

理解度チェック 5-1

1. a. 上限価格規制のために住宅所有者が受け取る金額が下がったので、駐車スペースを貸し出そうとする住宅所有者の数は減る。これは価格の低下にともなって供給量も減少するという概念を反映したものだ。それは下の図で、点 E から点 A への供給曲線に沿った動きで示される。駐車スペースは 400 台分減少する。



- b. 需要量は価格の低下にともなって 400 台分増加する。価格が低くなるほどより多くのファンが車でスタジアムに来て駐車スペースを借りようとする。それは図で、需要曲線に沿った点 E から点 B への動きで示されている。
 - c. 上限価格規制のもとでは需要量が供給量を上回り、その結果、供給不足が生じる。この場合には 800 台分の駐車スペースが不足する。それは図の点 A と点 B の水平距離で示される。
 - d. 上限価格規制は資源の浪費をもたらす。ファンが駐車スペースを探すのに費やす余分な時間は浪費だ。
 - e. 上限価格規制は消費者に対する財（ここでは駐車スペース）の非効率的な配分をもたらす。
 - f. 上限価格規制はブラック・マーケットを出現させる。
2. a. 誤り。上限価格規制は生産者が受け取る価格を引き下げ、供給量を減少させる。
 - b. 正しい。上限価格規制は効率的で自由な市場にくらべて供給量を少なくさせる。その結果、上限価格規制が課されているときには、市場価格を支払ってもよいと思っている、つまり自由な市場であれば財を得ていたはずの人々のなかで、財を得るこ

とができない人が出る。

- c. 正しい。それでも生産物を売ろうとする生産者はより少ない金額しか受け取れないので、より悪い状態になる。他の生産者は生産物を売ることによって価値を見出せなくなる。よって彼らの状態もより悪くなる。

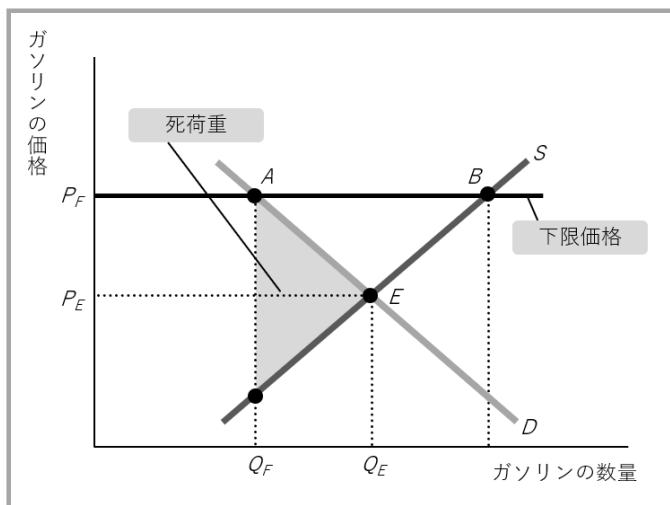
- 3. a. アパートは同じ価格ですぐに貸し出されるので、生産者余剰に（プラスあるいはマイナスの）変化はない。ということは、総余剰が変化したらそれは消費者余剰が変化したということだ。あなたが退去させられる場合、あなたが失う消費者余剰は、あなたのアパートに対する支払い意欲額と統制された家賃の差分に等しい。アパートが同じ価格で誰かに借りられた場合、新たな賃借人が得る消費者余剰は、彼らの支払い意欲額と統制された家賃の差分に等しい。だから、あなたの支払い意欲額と新たな賃借人の支払い意欲額が同じときにかぎり、賃借人が変わることは、ある人からある人へと余剰を純粋に移転することを意味する。家賃が統制されているとき、アパートは支払い意欲額がもっとも高い人へと常に配分されるわけではないので、新しい借主の支払い意欲額はあなたの支払い意欲額と同じときもあれば、低いときもあるし、高いときだってある。新たな賃借人の支払い意欲額があなたの支払い意欲額より低ければ、死荷重を余分に生み出すことになる。つまり、得られたはずの消費者余剰が失われるということだ。けれども、新たな賃借人の消費者余剰があなたの支払い意欲額よりも高ければ、総余剰は増加することになる。新たな賃借人が得る消費者余剰はあなたが失うそれよりも大きいからだ。
- b. このことで死荷重が生まれる。あなたがチケットを譲渡することができるとしたら、譲渡された人はチケットの支払い意欲額と等しい消費者余剰を得るだろう。あなたは余剰を得ることも失うこともない。チケットを譲渡してもしなくても、あなたはコンサートに行けないからだ。あなたがチケットを売ることができるとしたら、買い手は自分の支払い意欲額とあなたが売ったチケットの価格との差分と等しい消費者余剰を得るだろう。さらに、あなたは売ったときのチケットの価格とチケットを売るコスト（チケットを勝ち取っているのだから、これはたぶんゼロだ）との差分と等しい生産者余剰を得ることになるだろう。チケットを売ることでも譲渡することもできなくする制約は、余剰が誰の手にも渡らないことを意味するので、こうした制約は死荷重を生み出すことになる。上述したようにあなたがチケットを譲渡できるならば、チケットを譲り受けた人のものとなるはずの消費者余剰がある。そして、あなたがもっとも支払い意欲額が高い人へとチケットを譲渡するならば、死荷重はないだろう。
- c. このことで死荷重が生まれる。彼らの支払い意欲額はアイスクリームの価格よりも高いに違いないから、学生たちがキャンパスでアイスクリームを買ったとき、消費者余

剰を得る。アイスクリームの価格は大学がアイスクリームを売る費用よりも高いから、あなたが通う大学は生産者余剰を得る。キャンパスでのアイスクリームの販売禁止は、総余剰の2つの源泉が失われることを意味する。つまり、死荷重が生まれるのだ。

- d. あなたの飼い犬があなたと同じだけアイスクリームに価値を置くとすると、これは余剰の純粹移転になる。あなたは消費者余剰を失うが、飼い犬はあなたが失ったのと等しい分の消費者余剰を得る。

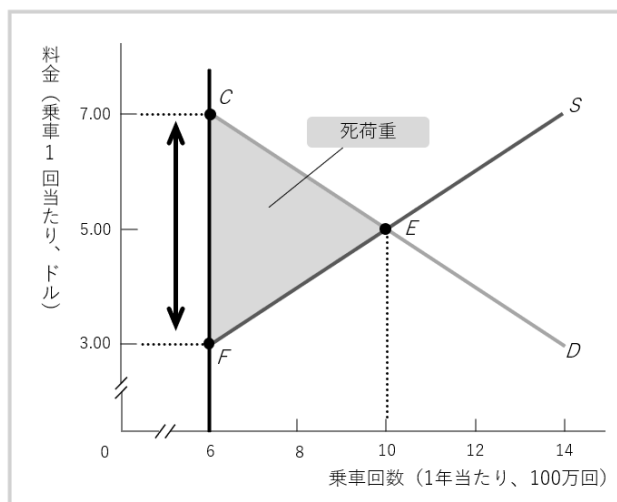
理解度チェック 5-2

1. a. ガソリンスタンド所有者の一部は、価格の上昇から利益を得る。 Q_F はこれらの所有者による売り上げを示している。だが損失をこうむる所有者もいる。それは市場均衡価格 P_E ではガソリンを売っていたが、規制価格 P_F では売れなくなった人たちだ。この失われた売り上げは、図では需要曲線に沿った点 E から点 A への需要量の減少で示される。
- b. より高い P_F という価格でガソリンを買う人は、おそらくよりよいサービスを受けることになる。これは下限価格規制のせいで生じる非効率的に高い品質の一例だ。ガソリンスタンドの所有者は価格でなく質で競争するようになるのだ。だが反対者たちは、消費者は一般により悪い状態になると主張する。すなわち P_F でも買う人は P_E で買えればより嬉しいだろうし、 P_E と P_F のあいだの価格で買ってもよいと思う多くの人は、 P_F ではもう買いたいと思わない。これは図で、点 E から点 A への需要曲線に沿った需要量の減少で示されている。
- c. ガソリンスタンド所有者の一部と消費者が下限価格規制から被害を受けるので、賛成者たちは誤っている。下限価格規制は「失われた機会」——ガソリンスタンド所有者と消費者のあいだの望ましい取引だが、実際には起こらなかった取引——を生じさせる。死荷重、すなわち失われた機会のせいで損なわれる総余剰の量は、次の図の影のついた領域の面積で示されている。さらに、消費者が時間とおカネをかけて他の州まで行くので、資源の浪費という非効率性が生じる。また下限価格規制は、人々が闇市場で取引するように仕向ける。 P_F という下限価格規制のもとでは、売られるガソリンはたった Q_F 単位しかない。でも P_E と P_F のあいだの価格では、合計で Q_F 単位以上を買いたいという消費者たちと、それを売ってもよいと思うガソリンスタンド所有者がいる。これは、非合法活動に結びつきやすい状況だ。



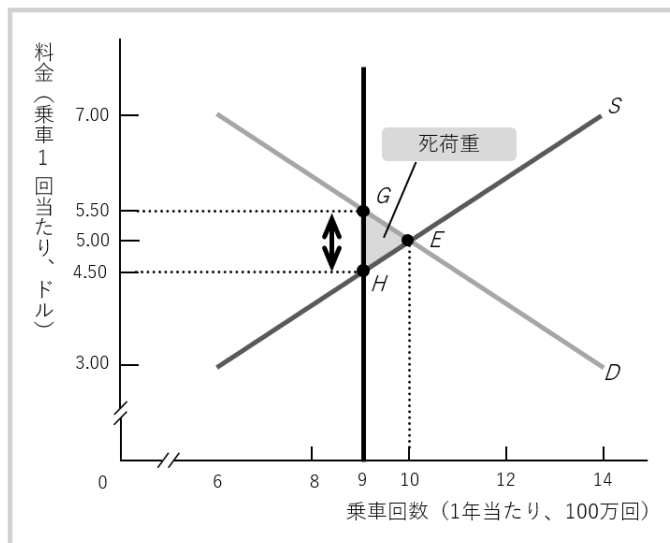
理解度チェック 5-3

1. a. 乗車1回の価格は、需要量が600万回なので7ドルだ。7ドルは600万回の乗車の需要価格だ。これは次の図の点Cで表されている。

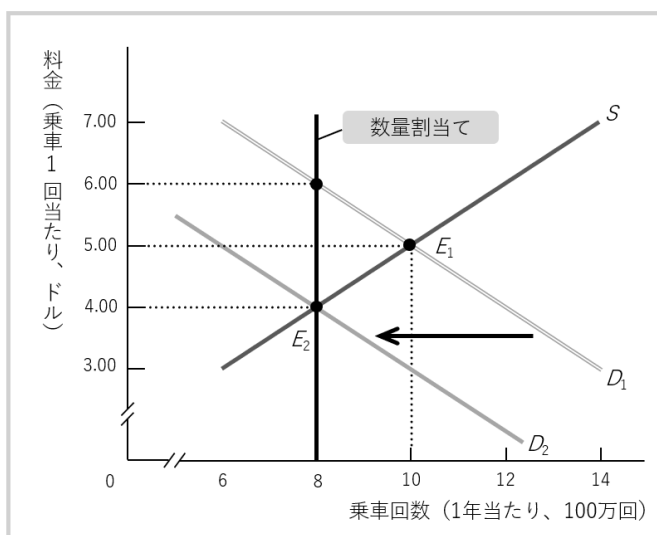


- b. 600万回の乗車の供給価格は3ドルで、図の点Fで表されている。需要価格7ドルと供給価格3ドルのあいだのウェッジ（くさび）は、乗車1回当たりの割当てレントで、4ドルだ。これは図の点Cと点Fの垂直距離で表される。
- c. 割当てはお互いに利益のある400万回の取引の発生を抑えてしまう。図の影をつけた三角形が死荷重を表している。
- d. 900万回の乗車では需要価格は図の点Gで示される乗車1回当たり5.50ドルとなり、供給価格は点Hで示される乗車1回当たり4.50ドルになる。割当てレントは需要価格と供給価格の差の1ドルだ。死荷重は図の影をつけた部分だ。みてのとお

り、割当てが 600 万回の乗車に設定されているときよりも 900 万回の乗車に設定されているときのほうが死荷重は小さくなる。



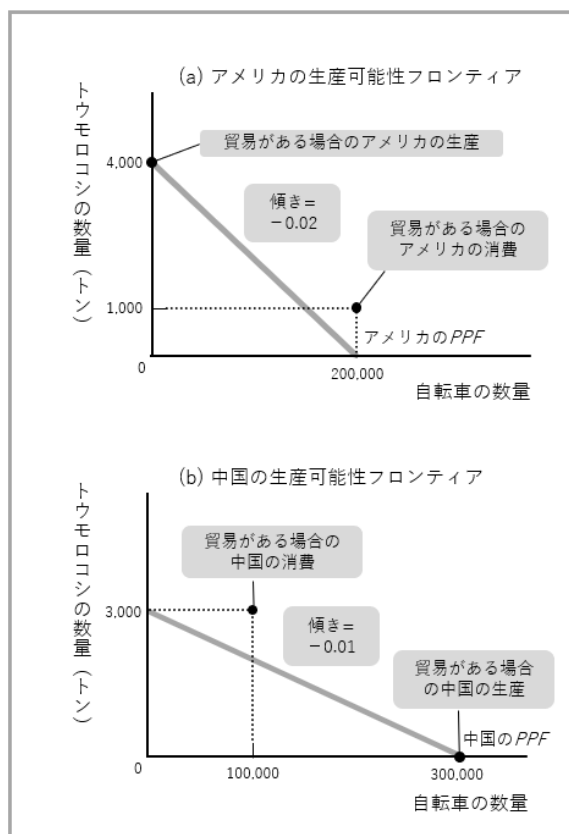
2. 次の図は、400 万回の需要の減少が需要曲線 D_1 から D_2 への左シフトでどのように表されるかを示したものだ。どの価格水準でも需要量は乗車 400 万回分だけ減っている (たとえば 5 ドルという価格では、需要量は 1 年当たり 1000 万回から 600 万回へと減少する)。このシフトは 800 万回の乗車という割当て制限の効果を失わせる。新しい市場均衡は点 E_2 で、均衡数量は割当て制限に等しい。その結果、割当ては市場に何の効果ももたらさない。



Chapter6 国際貿易

理解度チェック 6-1

1. a. 比較優位のパターンを決定するには、財の機会費用を2つの国のあいだで比較する必要がある。自転車で測ったトウモロコシ1トンの機会費用を考えよう。中国では、自転車1台の機会費用は0.01トンのトウモロコシだ。だからトウモロコシ1トンの機会費用は、 $1/0.01=100$ 台の自転車ということになる。アメリカはトウモロコシに比較優位をもつ。というのは、アメリカでは自転車で測ったトウモロコシの機会費用は50台で、中国のそれよりも小さいからだ。同様に、アメリカではトウモロコシで測った自転車1台の機会費用は、 $1/50=0.02$ トンだ。これは、中国の機会費用0.01トンより大きい。だから中国は自転車に比較優位をもつ。
- b. アメリカは、トウモロコシを生産しない場合に自転車を20万台生産できるとすれば、自転車を生産しない場合に、 $20 \text{ 万台} \times 0.02 \text{ トン}$ のトウモロコシ/1台の自転車 $= 4000 \text{ トン}$ のトウモロコシを生産できる。同様に、中国は自転車を生産しない場合にトウモロコシを3000トン生産できるとすれば、トウモロコシを生産しない場合に、 $3000 \text{ トン} \times 100 \text{ 台}$ の自転車/1トンのトウモロコシ $= 30 \text{ 万台}$ の自転車を生産できる。次の図で示されているように、これらの値がアメリカと中国の生産可能性フロンティアのタテ軸とヨコ軸の切片を決定する。

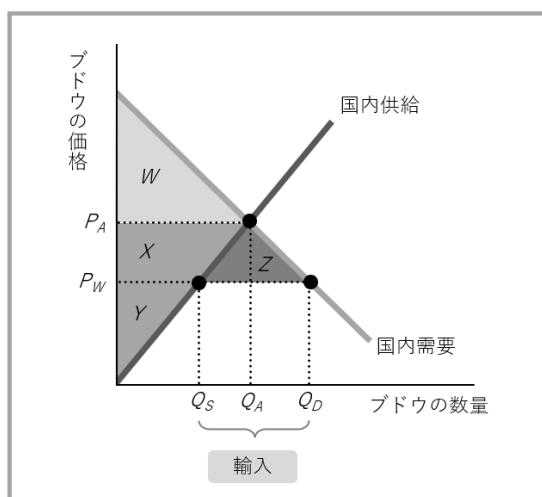


- c. 図には2つの国の生産点と消費点が表示されている。2つの財の消費の組合せは生産可能性フロンティアの外側にあるので、自給自足状態のときには達成されなかったものだ。したがって各国は明らかに、国際貿易からの利益を享受している。
2. a. ヘクシャー=オリーンのモデルによれば、この貿易パターンが起こるのは、映画製作に適した人的・物的資本などの生産要素がアメリカには相対的に多く、フランスにはぶどう園やワイン醸造のための人的資本など、ワイン製造に適した生産要素が相対的に多いからだ。
- b. ヘクシャー=オリーンのモデルによれば、この貿易パターンが起こるのは、機械製造に適した人的・物的資本などの生産要素がアメリカには相対的に多く、ブラジルには非熟練労働者や革など、靴製造に適した生産要素が相対的に多いからだ。

理解度チェック 6-2

1. 次の図にはアメリカの自給自足時のブドウ価格が P_A で、また国際貿易のもとでのブドウの世界価格が P_W で示されている。貿易が生じると、アメリカの消費者は P_W の価格

でブドウを買い、 Q_D の量だけ消費する。アメリカのブドウ生産者は Q_S の量だけ生産するので、アメリカは消費と生産の差である $Q_D - Q_S$ の量のブドウをメキシコから輸入する。トラックドライバーのストライキにより輸入が中断した結果、アメリカの消費者が支払う価格は自給自足価格 P_A まで上昇し、消費は自給自足のときと同じ Q_A まで落ち込むことになる。

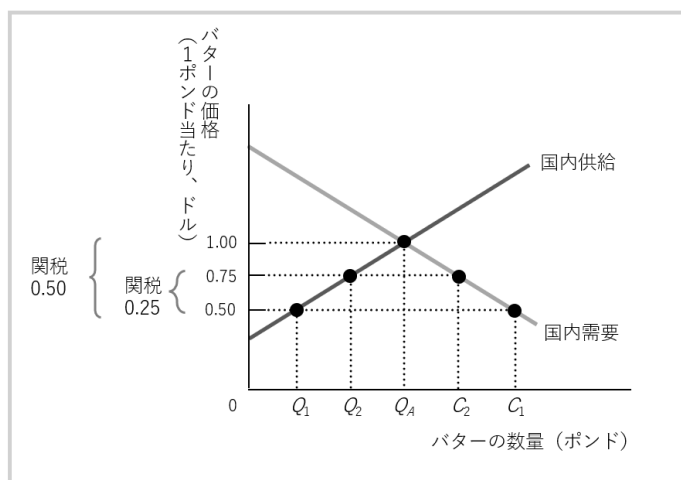


- a. ストライキの前、アメリカの消費者は $W+X+Z$ の領域の消費者余剰を得ているが、ストライキ後、彼らの消費者余剰は領域 W まで縮小する。領域 $X+Z$ で示される消費者余剰を失うことで、アメリカの消費者は損失をこうむる。
 - b. ストライキの前、アメリカの生産者は Y の領域の生産者余剰を得ているが、ストライキ後、彼らの生産者余剰は領域 $Y+X$ まで拡大する。領域 X で示される生産者余剰を獲得することで、アメリカの生産者は利益を得る。
 - c. ストライキによってアメリカの総余剰は領域 Z で示される量だけ低下する。それは生産者ではなく、消費者がこうむる余剰の損失だ。
2. メキシコのブドウ生産者はアメリカへのブドウ輸出の売り上げを失うので損失をこうむる。メキシコのブドウ摘み労働者は売り上げが減少しなければ得られたはずの賃金を失うので損失をこうむる。ストライキによってメキシコ産ブドウへの需要が減少した結果ブドウの価格が低下するので、メキシコの消費者は利益を得る。アメリカのブドウの売り上げが $Q_A - Q_S$ だけ増加することで賃金が上昇するので、アメリカのブドウ摘み労働者も利益を得る。

理解度チェック 6-3

1. a. 関税が0.5ドルなら、1ポンドの輸入バターに国内消費者が支払う価格は0.5ドル

+0.5 ドル=1 ドルとなる。これは国内産バター1 ポンドと同じ価格だ。このとき国内産バターとくらべて輸入バターの価格優位性がなくなるので、輸入はゼロとなる。国内生産者だけが国内消費者に販売することになり、総販売量は次の図の Q_A で示される。関税が 0.25 ドルの場合、1 ポンドの輸入バターに国内消費者が支払う価格は 0.5 ドル+0.25 ドル=0.75 ドルとなる。これは国内産バター1 ポンドよりも 0.25 ドル安い。0.25 ドルの関税が課されたとき、アメリカのバター生産者は $Q_2 - Q_1$ だけ販売数量を増やすことができる。だが、これは 0.5 ドルの関税のもとで増大した販売数量 $Q_A - Q_1$ よりも小さい。



b. 少なくとも 0.5 ドルの関税が課されるかぎり、それ以上関税を引き上げても何の影響もない。0.5 ドルの関税ですべての輸入は実質的に阻止されるからだ。

2. 関税が 0.5 ドルのとき、すべての輸入が実質的に阻止される。だからこれに等しいのは、割当て数量が 0 の輸入割当てだ。

理解度チェック 6-4

1. 砂糖や衣類を購入する消費者の数に比べて、鉄鋼製品を中間投入財として利用する企業数は少ない。したがって、そのような企業が関税反対のロビー活動を実行するために互いの意見を調整しあうことは、消費者の場合にくらべるととても簡単だ。さらに各企業は、鉄鋼製品に対する関税が利潤を大きく減少させることを認識している。だが個々の消費者は、砂糖や衣類の関税のせいで損失をこうむっていることにあまり気づいていないか、または、ほとんど認識していない。
2. 品質面、健康面、環境面で輸入品が自国消費者の脅威となるという理由で、国は自国

産業を頻繁に保護しようとする。WTO の職員は、品質、健康、環境規制が、外国生産者と同程度にきびしく自国生産者にも適用されているかを調査すべきだ。もし両者とも同じきびしさで規制されているなら、その規制は合法的であり貿易保護ではないだろう。そうでない場合は、その規制は貿易保護の手段である可能性が高い。

Chapter7 意思決定

理解度チェック 7-1

1.
 - a. これらは消耗品なので金銭的費用だ。それを調達するのに金銭の支出が必要だからだ。
 - b. たとえば、地下室を学生に賃貸するなど、他の用途に用いて金銭収入を得られるなら、地下室利用は隠れた費用（賃貸から得られたはずの金銭収入）だ。他の用途に用いて金銭収入を得ることができない場合には、隠れた費用はない。
 - c. 賃金は金銭的費用だ。
 - d. 小型トラックをビジネスに使うことで、マリソルとローガンはそれを売っていただけたはずの収入を犠牲にしている。小型トラックを使うのには、そのような隠れた費用がかかる。
 - e. マリソルが家具修繕会社の仕事をやめることで失った賃金は、隠れた費用だ。
2. 正しい選択をするためには、機械工になるという選択をすぐ職に就くという選択とくらべるだけでよい。薬学の学位を獲得することよりすぐ職に就くことのほうがいつだって理想的だから、薬学課程就学という選択は無視できる。では、残る2つの選択肢——熟練機械工になるかすぐ職に就くか——をくらべてみよう。見習い機械工としてはたらく最初の2年間にジェニーが稼げるのが3万ドルなのに対し、すぐ職に就くと5万7000ドル稼げる。すぐに職に就かずに機械工になることには、3万ドル－5万7000ドル＝－2万7000ドルの隠れた費用がかかる。とはいえ、いまから2年後に機械工として稼ぐ生涯所得は72万5000ドルで、すぐ職に就くと60万ドルだ。つまり、機械工になることを選択すると12万5000ドルの会計利潤が得られることになる。すぐに職に就かずに機械工になるというキャリア選択の経済利潤を計算すると、12万5000ドル－2万7000ドル＝9万8000ドルだ。反対の選択肢、つまり機械工ではなくすぐに職に就くというキャリア選択の経済利潤を計算すると、－12万5000ドル＋2万7000ドル＝－9万8000ドルだ。「あれかこれか」を決定する原理によって、ジェニーは機械工になることで正の経済利潤を得られるので、彼女は機械工になることを選択すべきだ。
3. BもCもAよりいい選択肢だから、選択肢Aは無視できる。だが、BとCをくらべなければならない。BとCをくらべてみて、正の経済利潤をもたらすほうの選択肢を選択すべきだ。

理解度チェック 7-2

1. a. 洗濯の限界費用は、それにかかった金銭的支出と、今日洗濯するのに要した時間だ。つまり、今日洗濯するのに使った時間を別のことに使ったときに、もっとも高い便益をもたらすこと、たとえば今日映画をみることなどで測ることができる。今日洗濯することの限界便益は、今日着る服を選ぶときに選択肢が増えることだ。
 - b. オイル交換の限界費用には、オイル交換にかかる金銭的費用だけでなく、オイル交換に必要な時間も含まれる。オイル交換の限界便益は自動車の調子がよくなることだ。
 - c. ナチョスにもう 1 つハラペーニョを加えることの限界便益は、それでおいしさがいっそう増すことだ。その限界費用はそのせいで口がヒリヒリしてしまう不快感と、もう 1 つのハラペーニョにかかる金銭的費用だ。
 - d. 限界費用はその社員に支払う賃金だ。もう 1 人社員を雇うことの限界便益は、その社員が生み出す生産物の価値だ。
 - e. 薬をもう 1 袋服用することの限界便益は病状が改善することだ。限界費用はもう 1 袋の薬をもたらす副作用だ。
 - f. もう 1 時間勉強することの限界便益は成績がきっとよくなることだ。限界費用はその機会費用、つまり勉強時間を別のことにあてたときに、もっとも高い便益をもたらすことで測ることができる。
2. 次の表はアレクサの今回の限界費用と利潤を示したものだ。アレクサの限界便益は表 7-5 と同じだ。

通学費用	総費用 (ドル)	限界費用 (ドル)	限界便益 (ドル)	利潤 (ドル)
0	0			
		9万	30万	21万
1	9万	3万	15万	12万
2	12万	5万	9万	4万
3	17万	8万	6万	-2万
4	25万	12万	5万	-7万
5	37万			

アレクサの限界費用は 2 年の通学を終えるまで減るけれど、その後は失った所得の価値のせいで逡増する。最適通学年数は 3 年間だ。通学年数が 3 年未満だと限界便益が限

界費用を上回っているし、4年以上になると限界費用のほうが限界便益よりも大きくなるからだ。

理解度チェック 7-3

1. a. サunkコストは 8000 ドルだ。トラック購入にあてた 8000 ドルを取り戻すことはできないからだ。
b. サunkコストは 4000 ドルだ。トラック購入にあてた 8000 ドルのうち 50%は取り戻すことができるからだ。
2. a. 正しくない。すでに投入してしまった時間とおカネはサunkコストだからだ。
b. 正しくない。2 年前にやっておくべきだったことは、いま何をすべきかを決めるのに影響を及ぼさないからだ。
c. 正しい。サunkコストはいまやるべきことに影響を及ぼさないことを正しく認識しているからだ。
d. 両親を心配させたくないということならば、正しい。けれども両親の考え方は合理的ではない。というのも、すでに使ってしまった時間はサunkコストだということを認識していないからだ。

理解度チェック 7-4

1. a. ゴーイの行動は損失回避的だ。彼女は損失に過敏だから、サunkコストを無視したがるし引っ越しもしたがる。
b. これはフレーミング効果の一例である。小売業者は、複数の商品を提供することで、買い物客にお得な買い物をさせているのだ。しかし、レオにとっては、必要以上に買ってしまうので、お得ではない。
c. ダニーロは将来の行動について非現実的な予想をしているかもしれない。彼は現時点では預金プランに参加したがるかもしれないけれど、プランに参加する決定を覆せないようにする方策をいずれ考えだすべきだ。
d. エンマには現状維持バイアスの兆候がみられる。彼女はまったくもって意思決定することを避けている。つまり、彼女は現状を維持しているということだ。
2. 自分の行動が合理的か不合理的かを判定するはじめの一步は、その意思決定の費用と便益のすべてを正確に説明することだ。とくに、機会費用すべてを正確に測らなければならない。次に、次善の選択肢とくらべたときの、あなたが下した決定の経済利得を

計算する。比較をしたあとでも当初と同じ選択をするならば、合理的選択をしたことになる。そうでないなら、あなたがした選択は不合理的だったということだ。

Chapter8 公共財と共有資源

理解度チェック 8-1

1. a. 公園の利用は排除不可能だが、消費の競合性があるかないかは状況による。たとえばあなたと私が公園でジョギングをする場合、あなたが公園を利用したからといって私が利用を妨げられるわけではないので、公園の利用に消費の競合性はない。この場合、公園は公共財だ。だが大勢の人がジョギング用コースを同時に利用したり、公共のテニスコートを私が使用することであなたが使えないという場合には、公園の利用には消費の競合性がある。この場合には、公園は共有資源だ。
b. チーズ・ブリトーは、排除可能で消費の競合性があるため私的財だ。
c. パスワードで保護されたウェブサイトの情報は、排除可能だが、消費の競合性はない。よってこれは人為的な希少財だ。
d. 接近中のハリケーンの進路に関して公式に発表された情報は、排除不可能で消費の競合性はない。よってこれは公共財だ。
2. 民間の生産者が供給するのは排除可能な財だけだ。排除不可能な財であれば、生産費用をカバーするだけの価格をつけられない。だから民間の生産者はチーズ・ブリトーとパスワードで保護されたウェブサイトの情報なら供給しようとするが、公園や、接近中のハリケーンの進路に関する公式の情報を供給しようとはしない。

理解度チェック 8-2

1. a. 家にいるのが好きな人が10人でパーティー好きの人が6人のとき、パーティーに使う金額の限界社会便益は次の表のようになる。

パーティー に使う金額	限界社会便益
0ドル	$(10 \times 0.05 \text{ドル}) + (6 \times 0.13 \text{ドル}) = 1.28 \text{ドル}$
1ドル	$(10 \times 0.04 \text{ドル}) + (6 \times 0.11 \text{ドル}) = 1.06 \text{ドル}$
2ドル	$(10 \times 0.03 \text{ドル}) + (6 \times 0.09 \text{ドル}) = 0.84 \text{ドル}$
3ドル	$(10 \times 0.02 \text{ドル}) + (6 \times 0.07 \text{ドル}) = 0.62 \text{ドル}$
4ドル	

このときの効率的な支出額は2ドルだ。これは限界社会便益が限界費用（1ドル）よりも大きくなる支出額の中の最高額だ。

- b. 家にいるのが好きな人が6人でパーティー好きの人が10人のとき、パーティーに使う金額の限界社会便益は次の表のようになる。

パーティー に使う金額	限界社会便益
0ドル	$(6 \times 0.05 \text{ドル}) + (10 \times 0.13 \text{ドル}) = 1.60 \text{ドル}$
1ドル	$(6 \times 0.04 \text{ドル}) + (10 \times 0.11 \text{ドル}) = 1.34 \text{ドル}$
2ドル	$(6 \times 0.03 \text{ドル}) + (10 \times 0.09 \text{ドル}) = 1.08 \text{ドル}$
3ドル	$(6 \times 0.02 \text{ドル}) + (10 \times 0.07 \text{ドル}) = 0.82 \text{ドル}$
4ドル	

このときの効率的な支出額は3ドルだ。これは限界社会便益が限界費用（1ドル）よりも大きくなる支出額の中の最高額だ。設問a.よりも効率的な支出額が増加した理由は、家にいるのが好きな人の数に対してパーティー好きの人が相対的に増加したため、パーティーに追加的に1ドル支出することの社会便益が大きくなったためだ。

- c. 家にいるのが好きな人とパーティー好きの人の数がわからないときに、各個人がそれぞれ家にいるのが好きかパーティー好きかを尋ねられた場合、公共のパーティーに対する支出額を大きくさせるために、家にいるのが好きな人でもパーティー好きのふりをする。なぜなら、追加的な1ドルに対する家にいるのが好きな人の個別限界便益はパーティー好きな人よりも小さいとはいえ、その値は正だからだ。この場

合、パーティーに使う金額の「申告された」限界社会便益は次の表のようになる。

パーティー に使う金額	限界社会便益
0ドル	
1ドル	$16 \times 0.13 \text{ドル} = 2.08 \text{ドル}$
2ドル	$16 \times 0.11 \text{ドル} = 1.76 \text{ドル}$
3ドル	$16 \times 0.09 \text{ドル} = 1.44 \text{ドル}$
4ドル	$16 \times 0.07 \text{ドル} = 1.12 \text{ドル}$

この結果、「申告された」限界社会便益が限界費用（1ドル）よりも大きい支出額のうちの最高額は4ドルとなり、その額がパーティーに支出される。家にいるのが好きな人が10人でパーティー好きの人が6人（設問 a.）であっても、家にいるのが好きな人が6人でパーティー好きの人が10人（設問 b.）であっても、パーティーに4ドル支出すると限界費用が限界社会便益よりも大きくなるので、これは明らかに効率的ではない。

さらなる練習問題として、家にいるのが好きな人が虚偽の報告をすることでどれくらい利益を得られるかを考えてみよう。設問 a.では、効率的な支出額は2ドルだった。家にいるのが好きな人は自分の選好を偽って報告すれば支出額を2ドルから4ドルにすることができ、その変化がもたらす個別限界便益の分だけ得をすることができる。つまり10人の家にいるのが好きな人全員で得られる利益は $10 \times (0.03 \text{ドル} + 0.02 \text{ドル}) = 0.50 \text{ドル}$ となる。家にいるのが好きな人が虚偽の報告をすることで、6人のパーティー好きの人にもまた得をする。彼ら全員の利益は $6 \times (0.09 \text{ドル} + 0.07 \text{ドル}) = 0.96 \text{ドル}$ だ。4ドル支出すれば限界費用は1ドルなのに、限界社会便益は0.62ドルになり、支出額が過剰で明らかに非効率だ。

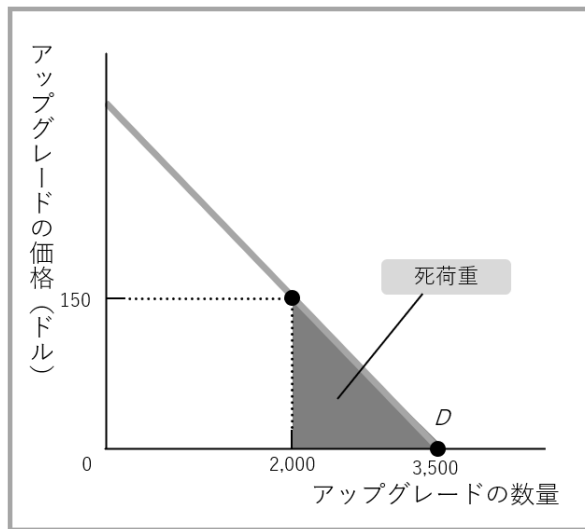
設問 b.では、効率的な支出額は3ドルだった。6人の家にいるのが好きな人が虚偽の報告をして得られる彼ら全員の利益は $6 \times 0.02 \text{ドル} = 0.12 \text{ドル}$ で、10人のパーティー好きの人全員の利益は $10 \times 0.07 \text{ドル} = 0.70 \text{ドル}$ になる。4ドル支出すれば限界費用は1ドルなのに、限界社会便益はわずか $0.12 \text{ドル} + 0.70 \text{ドル} = 0.82 \text{ドル}$ なのだから、これも明らかに非効率だ。

理解度チェック 8-3

1. 市民がタダで木を伐採できる場合には、政府が保有する森林は共有資源となる。これは非効率的に過剰な数の木が伐採されるという過剰利用につながる。経済学の用語を使えば、木を伐採する限界社会費用のほうが民間の伐採者の個別限界費用よりも大きいことを意味する。
2. 経済理論と整合的な 3 つの方法とは、(i) ピグー税、(ii) 取引可能な許可証の制度、および (iii) 所有権の付与だ。
 - (i) ピグー税 社会的に効率的な伐採量での限界社会費用と伐採にかかる個別限界費用との差に等しいピグー税を伐採者に課すことだ。これを実行するには、限界社会費用表と個別限界費用表を知る必要がある。
 - (ii) 取引可能な許可証の制度 取引可能な許可証を発行し、伐採できる木の数を経済的に効率的な伐採量に等しくすることだ。許可証の市場が生まれることで、伐採にかかる費用水準が異なる伐採者のあいだで、伐採権が効率的に配分される。つまり、伐採費用が相対的に安い伐採者が許可証を購入することになる。この許可証の市場価格は、社会的に効率的な伐採量での限界社会費用と伐採にかかる個別限界費用の差に等しい。これを実現するためには、社会的に効率的な伐採量を知る必要がある。
 - (iii) 所有権の付与 これは、民間の業者に森林を販売したり与えたりすることだ。そうすれば、他者が木を伐採することを排除する権利がこの業者に与えられる。これにより木の伐採は排除可能で消費の競合性をもつので、私的財になる。私的費用と社会的費用との違いはなくなり、民間の業者が伐採する木の量は効率的になる。この方法には、追加的な情報は必要ない。

理解度チェック 8-4

1. a. 消費者がダウンロードするのを許可するのにかかる限界費用は 0 ドルなので、効率的な消費者価格は 0 ドルだ。
- b. Xenoid 社は、少なくともソフトウェアを生産するための費用である 30 万ドルを回収できるような価格でないと生産しようとはしない。だから Xenoid 社が生産を行うための最低価格は 150 ドルだ。この価格なら総収入は $150 \text{ ドル} \times 2000 = 30 \text{ 万ドル}$ となるが、これよりも低い価格では費用をカバーできないからだ。下の図の影をつけた領域は、Xenoid 社が価格を 150 ドルに設定したときの死荷重を示している。



Chapter9 マクロ経済学：経済の全体像

理解度チェック 9-1

1.
 - a. ミクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、特定の生産物に対して消費者が下す意思決定に焦点を当てているからだ。
 - b. マクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、経済全体の消費支出に焦点を当てているからだ。
 - c. マクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、経済全体の変化に焦点を当てているからだ。
 - d. ミクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、特定の市場、このケースでは経済学を専攻する学生の市場に焦点を当てているからだ。
 - e. ミクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、消費者と生産者が下す、どちらの輸送手段を用いるかという意思決定に焦点を当てているからだ。
 - f. ミクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、特定の市場における変化に焦点を当てているからだ。
 - g. マクロ経済学にかかわる問題だ。なぜなら、経済全体の価格水準の指標がどう変化したかに焦点を当てているからだ。
2.
 - a. ローンを得るための信用が不足しているとき、人々はおカネを使えなくなる。これは経済を停滞させ、そして他の人々が経済が停滞していると思うようになると、彼らも支出を減らし、また将来のきびしい時期に備えて貯蓄する。その結果、人々が支出を減らし、これが経済をますます悪化させ、それで人々はさらに支出を抑えるようになり、といった具合に、信用不足が経済を通じて合成効果を引き起こす。
 - b. もしあなたが経済は自動制御だと信じるならば、停滞に反応してすることは何もないと助言するだろう。
 - c. もしあなたがケインズ経済学を信じるならば、政策当局に金融政策と財政政策に着手して経済の支出を刺激すべきだと助言するだろう。

理解度チェック 9-2

1. 経済全体の景気循環について議論するのは、景気後退と景気拡大は少数の産業に限定されたものではないからだ。それらは経済全体の縮小と拡大を反映する。景気が縮小しているとき、ほぼすべての経済部門が産出と雇用を減らす。そのうえ、景気循環は国

際的な現象でもあって、複数の国々で似た動きをみせることもある。

2. 不況は社会全体に打撃を与える。景気後退は、多くの労働者から職を奪い、新たな就職を困難にするため、多くの家族の生活水準を悪化させる。景気後退によって、貧困線を下回る生活しか送れない人や住宅ローンの支払いに困り家を手放す人が増えると同時に、健康保険加入者の割合が低下する。景気後退は企業の利潤にも影響する。

理解度チェック 9-3

1. 人口成長率が高い国で1人当たりの生活水準を高めるには、人口成長率が低い国よりも総産出量の長期成長率を高く保たなければならない。なぜなら、総産出量はたくさんの人々で分割されるからだ。
2. 貧しくなったとはいえない。アルゼンチンはかつてほど貧しくない。アルゼンチンもカナダも長期の成長を経験している。だが、第2次世界大戦後、アルゼンチンはカナダほどの進歩はなかった。その理由はたぶん、不安定な政治とマクロ経済政策の失敗のせいだろう。カナダの経済成長もまた、アルゼンチンの経済成長よりもうんと速かった。現在、カナダはアルゼンチンよりも約3倍豊かな国だが、アルゼンチンはまだ長期的な成長の途上にある。

理解度チェック 9-4

1. a. 上昇している価格もあれば、下落している価格もあるから、インフレーションかデフレーションが起きているかもしれない。答えはどちらともいえない。
b. すべての価格がいちじるしく上昇しているから、インフレーションだと思われる。
c. たいていの価格が下落していて他の価格は変わっていないから、デフレーションだと思われる。

理解度チェック 9-5

1. a. この状況は比較優位を反映している。カナダの比較優位は石油の開発によるものだ。今日、カナダには豊富な石油がある。
b. この状況は比較優位を反映している。中国の比較優位は豊かな労働者によるものだ。中国は組み立てのような労働集約的な活動が得意だ。
c. この状況はマクロ経済効果を反映している。ドイツで巨額の貿易黒字が計上されて

きているのは、投資支出にくらべて貯蓄が大きいことが原因である。

- d. この状況はマクロ経済効果を反映している。アメリカで大幅な貿易赤字が計上されはじめたのは、テクノロジー・ブームによってアメリカが絶好の投資先となったからだ。アメリカでは貯蓄にくらべて投資支出が大きくなっている。

Chapter10 GDP と CPI：マクロ経済を追跡する

理解度チェック 10-1

1. まず、国内で生産された最終財・サービスの付加価値の合計と、国内で生産されたすべての最終財・サービスへの総支出との関係を考えることから始めよう。経済で生産されるすべての最終財・サービスは、誰かに購入されるか在庫に加わるかのどちらかだから、これら2つの量は等しい。ここでは在庫の増加は企業による支出として計算されている。次に、国内で生産された最終財・サービスへの総支出と総要素所得との関係を考えてみよう。国内で生産された最終財・サービスを購入するために費やされる支出は、いずれも企業にとっての収入だから、これら2つの量は等しい。企業はこれらの収入を賃金、利潤、利子、賃貸料のかたちで生産要素に支払わなければならない。まとめると、このことはGDPを計算する3通りの方法がすべて同じ値を導くことを意味している。
2. 企業は他の企業、家計、政府、外国に向けて販売をする。家計が企業と結びつくのは、企業への生産要素の販売を通じて、企業から最終財・サービスを購入することを通じて、そして金融市場での企業への資金貸し付けを通じてだ。家計が政府と結びつくのは、税の支払いを通じて、政府移転支出の受け取りを通じて、そして金融市場での政府への資金貸し出しを通じてだ。最後に、家計が外国と結びつくのは、輸入品の購入と金融市場での外国人との取引を通じてだ。
3. 鋼鉄の価値を二重計算している。1度目は鋼鉄がNational SteelによってNational Motorsへと売られたとき、2度目は自動車がNational Motorsによって売られたときだ。

理解度チェック 10-2

1. a. 2022年の名目GDPは $(100 \text{ 万個} \times 0.40 \text{ ドル}) + (80 \text{ 万個} \times 0.60 \text{ ドル}) = 40 \text{ 万ドル} + 48 \text{ 万ドル} = 88 \text{ 万ドル}$ だ。2022年から2023年にかけてフライドポテトの価格が25%上昇したことは、2023年でのフライドポテトの価格が $1.25 \times 0.40 \text{ ドル} = 0.50 \text{ ドル}$ だったことを意味している。販売数が10%低下したことは、 $100 \text{ 万個} \times 0.9 = 90 \text{ 万個}$ のフライドポテトが2023年に売れたことを意味している。その結果、2023年に売れたフライドポテトの総価値は $90 \text{ 万個} \times 0.50 \text{ ドル} = 45 \text{ 万ドル}$ だ。2022年か

ら 2023 年にかけてオニオンリングの価格が 15%低下したことは、2023 年でのオニオンリングの価格が $0.85 \times 0.60 \text{ ドル} = 0.51 \text{ ドル}$ だったことを意味している。販売数が 5%上昇したことは、 $80 \text{ 万個} \times 1.05 = 84 \text{ 万個}$ のオニオンリングが 2023 年に売れたことを意味している。その結果、2023 年に売れたオニオンリングの総価値は $84 \text{ 万個} \times 0.51 \text{ ドル} = 42 \text{ 万 8400 ドル}$ だ。2023 年の名目 GDP は $45 \text{ 万ドル} + 42 \text{ 万 8400 ドル} = 87 \text{ 万 8400 ドル}$ だ。2023 年の実質 GDP を求めるには、2022 年の価格を使って 2023 年の売り上げの価値を計算しなければならない。計算すると、 $(\text{フライドポテト } 90 \text{ 万個} \times 0.40 \text{ ドル}) + (\text{オニオンリング } 84 \text{ 万個} \times 0.60 \text{ ドル}) = 36 \text{ 万ドル} + 50 \text{ 万 4000 ドル} = 86 \text{ 万 4000 ドル}$ になる。

- b. 2022 年から 2023 年までの名目 GDP の変化は、 $((87 \text{ 万 8400 ドル} - 88 \text{ 万ドル}) / 88 \text{ 万ドル}) \times 100 = -0.18\%$ であり、減少した。ところが、実質 GDP で比較すると、 $((86 \text{ 万 4000} - 88 \text{ 万ドル}) / 88 \text{ 万ドル}) \times 100 = -1.8\%$ の低下になる。つまり、実質 GDP に基づいた計算は、名目 GDP (0.18%) よりも 10 倍大きい (1.8%) 低下を示しているということだ。このとき、名目 GDP に基づいた計算は変化の本当の大きさを過小評価することになる。

2. 2016 年の価格に基づいた物価指数は、2022 年の価格に基づいた物価指数とくらべて、電子機器の価格は相対的に高く、住宅価格は相対的に低くなっている。これが意味するのは、2018 年の実質 GDP を計算するために使われる 2016 年の物価指数は、経済の電子機器生産の価値を大きくみせる一方で、2022 年の物価指数は経済の住宅生産の価値を大きくみせるということだ。

理解度チェック 10-3

1. このマーケット・バスケットにかかる費用は、霜害前では $(100 \times 0.20 \text{ ドル}) + (50 \times 0.60 \text{ ドル}) + (200 \times 0.25 \text{ ドル}) = 20 \text{ ドル} + 30 \text{ ドル} + 50 \text{ ドル} = 100 \text{ ドル}$ だ。同じマーケット・バスケットの費用は、霜害後では $(100 \times 0.40 \text{ ドル}) + (50 \times 1.00 \text{ ドル}) + (200 \times 0.45 \text{ ドル}) = 40 \text{ ドル} + 50 \text{ ドル} + 90 \text{ ドル} = 180 \text{ ドル}$ だ。だから、霜害前の物価指数は $(100 \text{ ドル} / 100 \text{ ドル}) \times 100 = 100$ で、霜害後の物価指数は $(180 \text{ ドル} / 100 \text{ ドル}) \times 100 = 180$ となり、物価指数が 80% 上昇したことになる。ここで計算された物価指数の上昇率は本文中で計算された 84.2% よりも小さい。この違いが生じる理由は、オレンジ 100 個、グレープフルーツ 50 個、レモン 200 個からなる新たなマーケット・バスケットが含むものが、相対的に小さな価格上昇だったもの（価格が 80% 上昇したレモン）が比率的に多く、相対的に大きな価格上昇だったもの（価格が 100% 上昇したオレンジ）が比率的に少ないからだ。これは、物価指数はマーケット・バスケットの構成に

敏感だということを示している。マーケット・バスケットが他の財の価格よりも急速に上昇している価格の財を多く含むものならば、物価水準の上昇を過大に見積もってしまうことになる。反対に、マーケット・バスケットが他の財の価格よりもゆるやかに上昇している価格の財を多く含むものであるならば、物価水準の上昇を過小に見積もってしまうことになる。

2. a. 10 年前に決められたマーケット・バスケットが含む自動車の台数は現時点よりも少ない。自動車の平均的な価格が他の財の平均的な価格よりも急速に上昇していることを念頭に置いて考えると、このバスケットは生活費の真の上昇を過小評価することになる。なぜなら、このバスケットが含んでいる車の台数が相対的にあまりに少ないからだ。
 - b. 20 年前に決められたマーケット・バスケットにはブロードバンド・インターネットの使用が含まれていない。だから、このバスケットはここ数年間でインターネット使用の価格が低下していることを追跡できない。その結果、このバスケットでは生活費の真の上昇を過大評価することになる。
3. 式 (10-3) を使って計算すると、2021 年から 2022 年のインフレ率は $(298.99/280.88) - 1 = 0.0645$ あるいは 6.45% と求めることができる。

Chapter11 失業とインフレーション

理解度チェック 11-1

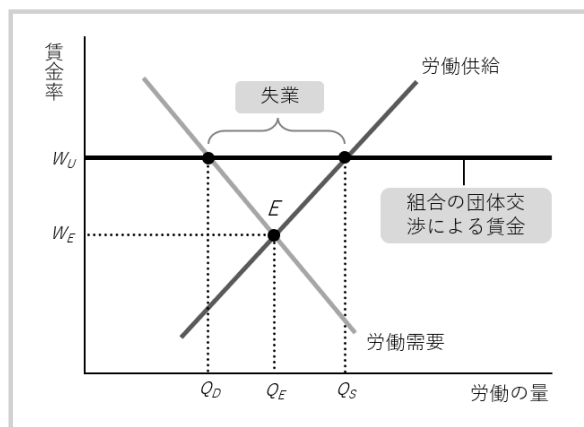
1. 求人サイトが開発したソフトウェアの改善のおかげで、求職者が適した職を見つけるまでの時間が短くなることは、時間を通じた失業率の低下をもたらすだろう。けれども、就業意欲喪失者に精力的に職探しを再開する動機を与えるウェブサイトは、時間を通じた失業率の上昇をもたらすだろう。
2.
 - a. ローザは失業者に算入されない。なぜなら、彼女は精力的に職探しをしていないからだ。だが、広範な労働の不完全利用の尺度では、彼女は就業意欲喪失者に算入される。
 - b. アンソニーは失業者に算入されない。彼は職に就いているから雇用されているとみなされる。
 - c. カナコは失業者だ。彼女ははたらいっていないけれども精力的に就職活動をしているからだ。
 - d. セルジオは失業者ではなく不完全就業者だ。彼は経済的理由からパートタイムではたらいっているからだ。彼は広範な労働の不完全利用の尺度に算入される。
 - e. ナターシャは失業者ではなく限界的待機労働者だ。彼女は広範な労働の不完全利用の尺度に算入される。
3. 図 11-5 で例証されているように、a.と b.の両方は、実質 GDP の平均を上回る成長または平均を下回る成長と失業率の変化の関係と整合的だ。平均を上回る成長を遂げている年には失業率は低下し、平均を下回る成長のときには失業率は上昇する。だが、c.は整合的でない。なぜなら c.は景気後退が失業率の低下と関連することになり、このことは正しくない。

理解度チェック 11-2

1.
 - a. 技術進歩のペースが速まると、昔からある産業がなくなって新たな産業が誕生するから、雇用創出と雇用破壊が進む。その結果、拡大している産業での職を求めて縮小している産業での職を手放すから、摩擦的失業は増える。
 - b. 技術進歩のペースが速まると、労働者がもつ技能と雇用主が探し求める技能とのミスマッチが大きくなり、構造的失業は増える。

- c. 失業率が低いとき、失業全体のうちに占める摩擦的失業の割合が大きくなるのは、失業の他の原因が縮小するからだ。だから、失業全体のうちに占める摩擦的失業の割合は大きくなる。

2. 拘束力をもつ最低賃金は、それより下げられない賃金の最低水準を表すものだ。その結果、実際の賃金が均衡に達することはない。だから、最低賃金を設けると、労働供給量が労働需要量を超過することになる。この余剰労働力は失業者となり、それは失業率に影響する。団体交渉は同様の効果がある。次の図でいうと、組合による団体交渉は均衡より上の W_U の水準まで賃金を上げることが可能だ。企業が雇いたいと思う労働者よりも求職者のほうが大きくなるから、最低賃金と似たような効果をもつ。図で示されているように、団体交渉は、それが無いときよりも高い失業率をもたらす。



3. 景気循環のピーク時に失業者への給付金を引き上げると、失業している人々にとっての費用を削減することになるから、彼らは職探しにより多くの時間を割くことができる。だから、自然失業率は高くなるだろう。

理解度チェック 11-3

1. 貨幣保有量を減らすのにかかる資産管理の費用は安くすむようになるから、インフレの靴底コストは以前より低くなるだろう。他の資産を貨幣に変えることにかかる費用の削減は、靴底コストの低下につながる。
2. インフレ率の急激な上昇は、借り手には有利になり、貸し手には不利になる。この場合、インフレ率が急上昇する前に借入れをしていた人は誰でも得をする。住宅ローンや自動車ローンを組んだ家計、学生ローンを返済中の新卒者、アメリカ政府などだ。急激なインフレで被害を受けるのは、主に金融機関や貯蓄者などの負債保有者である。

Chapter12 長期の経済成長

理解度チェック 12-1

1. 経済の進歩は一国の一般住民の生活水準を上げるが、実質 GDP 全体の増加は一般住民の生活水準の向上を正確に反映しない。なぜなら、実質 GDP は人口の成長を説明しないからだ。たとえば、実質 GDP は 10%、人口は 20% の成長ならば、一般住民の生活水準は下がる。変化後の一般住民が得られる実質所得は、変化前の実質所得の $(110/120) \times 100 = 91.6\%$ しか得ることができない。同様に、1 人当たり名目 GDP の上昇は、生活水準の向上を正確に反映しない。なぜなら、1 人当たり名目 GDP は価格の変化を説明しないからだ。たとえば、価格が 5% 上昇して 1 人当たり名目 GDP が 5% 成長したとしても、生活水準には何の変化も起こらない。1 人当たり実質 GDP が唯一、人口の変化も価格の変化も説明する尺度だ。
2. 70 の法則を使って計算すると、中国が 1 人当たり実質 GDP を倍増させるのに必要な時間は $(70/7.6) = 9.21$ 、つまり約 9 年だ。同様に計算していくと、アイルランドは $(70/3.9) = 17.95$ 、つまり約 18 年、インドは $(70/3.8) = 18.42$ 、つまり約 18 年、バングラデシュは $(70/3.2) = 21.88$ 、つまり約 22 年、アメリカは $(70/1.6) = 43.75$ 、つまり 44 年、フランスは $(70/1.1) = 63.64$ 、つまり 63 年、アルゼンチンは $(70/0.3) = 233.33$ 、つまり約 233 年だ。70 の法則は成長率がプラスのときにだけ当てはめられるから、マイナス成長のジンバブエのケースには使えない。インドの 1 人当たり実質 GDP の成長率がアメリカのそれよりも高いままならば、インドの 1 人当たり実質 GDP はアメリカのそれをいずれ超えるだろう。
3. アメリカは 1 世紀以上前に急速に成長しはじめた。中国とインドは最近になってようやく急速に成長しはじめた。その結果、中国とインドの標準的な家計は、まだアメリカの標準的な家計に追いついていない。

理解度チェック 12-2

1. a. 重要な技術進歩は、労働者 1 人当たりの物的資本や人的資本が変わらなくても、プラスの生産性成長率につながる。
b. 生産性成長率は下がるが、あくまでも物的資本に関する収穫逦減だから成長率はプラスのまま。

2. a. 産出量が1年当たり3%成長し、かつ労働力が1年当たり1%成長するならば、生産性、つまり1人当たり産出量の1年当たりの成長率は近似的には $3\% - 1\% = 2\%$ だ。
 - b. 物的資本が1年当たり4%成長し、かつ労働力が1年当たり1%成長するならば、労働者1人当たり物的資本の1年当たりの成長率は近似的には $4\% - 1\% = 3\%$ だ。
 - c. 他の条件が一定ならば、推計に基づくと、労働者1人当たり物的資本が1%増加すると生産性は0.3%向上する。だから、労働者1人当たり物的資本が3%上昇するとき、労働者1人当たり物的資本の増加が寄与したと考えられる生産性の成長は $0.3\% \times 3 = 0.9\%$ だ。それは生産性成長の $0.9\% / 2\% \times 100\% = 45\%$ だ。
 - d. 生産性成長の残り部分が技術進歩のおかげだとしたら、技術進歩は $2\% - 0.9\% = 1.1\%$ だけ生産性成長に寄与したことになる。それは総生産性成長の $1.1\% / 2\% \times 100\% = 55\%$ だ。
3. 労働者が新しいコンピューターシステムを学んで日常業務に取り入れるには一定の時間がかかる。しかも、新システムを学ぶときには、ファイルをうっかり削除してしまうというような失敗もつきものだから、Multinomics の生産性は一時的に低下するかもしれない。

理解度チェック 12-3

1. 国内貯蓄がたくさんある国は、投資支出の対 GDP 比率を高くすることができる。これは翻って、その国が高成長率を実現することを可能にする。
2. アメリカがもっと速いペースで新薬を生み出したり、開発したりすることはありうる。なぜなら、民間企業と学術的な研究機関の緊密な関係は、純粋な研究よりもむしろ新薬生産に直接的に注力する研究開発につながるからだ。
3. この出来事が一国の成長率を下落させることはありうる。なぜなら、所有権がないと、人々は生産設備への投資に躊躇するからだ。

理解度チェック 12-4

1. 条件付収束仮説によると、他の条件が一定ならば、1人当たり実質 GDP が比較的低い国々は、それが比較的高い国々よりも速く成長する。このことから推論できるのは、1

人当たり実質 GDP が比較的高い国々の場合、ゆるやかに成長していくということだ。これは、将来のアジアの成長は低調なことを示している。しかしながら、他の条件は等しくないかもしれない。たとえば、アジア経済が人的資本に投資しつづける場合、貯蓄率が高い水準でとどまる場合、政府がインフラに投資する場合などの状況では、加速度的に成長しつづけるだろう。

2. 東アジア、西ヨーロッパ、アメリカは収束仮説の裏付けとなる地域だ。なぜなら、これらの地域を比較すると、1人当たり実質 GDP が上昇するにつれて1人当たり実質 GDP の成長率は下がることが示されるからだ。東ヨーロッパ、西アジア、ラテンアメリカ、アフリカは収束仮説の裏付けとならない地域だ。なぜなら、これらの地域の1人当たり実質 GDP はどの地域もアメリカよりだいぶ小さいが、成長率はアメリカとほぼ同じ（西アジアと東ヨーロッパ）かもっと低い（アフリカとラテンアメリカ）からだ。
3. 証拠が示唆するのは、どちらの要素も重要だということだ。よりよいインフラは成長にとって重要だが、政治的安定性と財政の安定性もまた同様に重要だ。政策はこれら2つの領域に対処すべきだ。

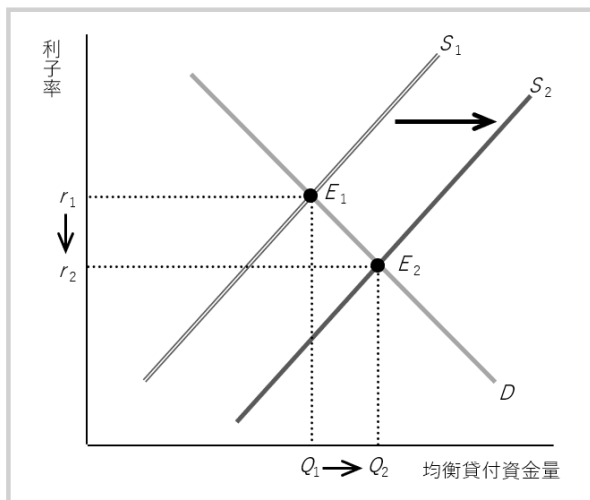
理解度チェック 12-5

1. 経済学者はたいていの場合、資源の希少性よりも環境悪化を問題視する。その理由は次のとおりだ。現代経済においては、資源の希少性によって課される制限は、節約と代替物の創造を通じた価格の反応によって軽減される傾向にあるからだ。けれども、環境悪化は（負の外部性と呼ばれる）補償する義務を負わない個人や企業が他人に押し付けるコストが関係しているから、それに対処するためには効果的な政府介入が必要だ。結果的に、市場の反応は十分でない可能性があるから、経済学者は環境悪化による成長の限界のほうにより関心を寄せる。
2. 経済成長は一国の温室効果ガスの排出量を増大させる。最善の見立てでは、排出量を大きく削減しても、成長はわずかしか鈍くならない。温室効果ガスの排出削減コストの国際的分担が議論を巻き起こす理由は、豊かな国々は、中国のような新興国が排出量を急速に増やすのをただ眺めるためだけに、排出削減コストを支払うことには気乗りしないからだ。けれども、現在蓄積しているガスのほとんどが、豊かな国々の過去の行為によるものだ。中国のような貧しい国々は、豊かな国々の過去の行為の対価として自国の経済成長を犠牲にすることをいやがっている。

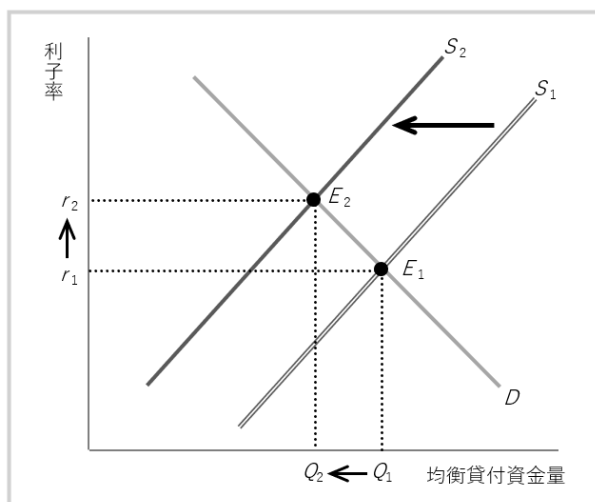
Chapter13 貯蓄、投資、金融システム

理解度チェック 13-1

1. a. 当該経済への純資本流入があるから、貸付資金の供給は増加する。これは次の図では S_1 から S_2 の供給曲線のシフトで描かれている。均衡点は E_1 から E_2 に移るから、均衡利子率は r_1 から r_2 に低下し、均衡貸付資金量は Q_1 から Q_2 に増大する。



- b. 退職した人たちの割合が高いせいで貯蓄は減る。これは次の図では S_1 から S_2 の供給曲線の左シフトで描かれている。均衡点は E_1 から E_2 へと移り、均衡利子率は r_1 から r_2 に上昇し、均衡貸付資金量は Q_1 から Q_2 に減少する。



2. 貸付資金市場からうかがい知れるのは、利子率が上昇するにつれて、家計はもっと貯

蓄をして消費を抑えたいということだ。しかしそれと同時に、利子率の上昇は、少なくとも利子率と同じだけの報酬率が見込める投資支出プロジェクトの数を減らす。

「企業が投資したくなる金額以上に家計は貯蓄を増やしたくなる」という文言では、貸付資金市場の均衡を言い表せない。なぜなら、この文言から読み取れるのは、貸付資金の供給量はその需要量を超過する、ということだからだ。超過供給になったら、利子率は下落して、貸付資金の供給量とその需要量は等しくなるにちがいない。

3. a. 実質利子率は変わらない。フィッシャー効果によると、予想インフレの上昇は名目利子率を押し上げるが、実質利子率を変えはしない。
- b. 名目利子率は3%上昇する。予想インフレ率が1%上昇するごとに、名目利子率は1%ずつ上る。
- c. 図 13-9 でみたように、インフレが予想されるかぎり、均衡貸付資金量に影響を及ぼさない。貸付資金の供給曲線と需要曲線の両方が上方シフトするが、均衡貸付資金量は変わらないままだ。

理解度チェック 13-2

1. (i) 取引費用の大きさ a. 銀行預金と b. 投資信託の取引費用はほぼ等しい。なぜなら、たいていの場合、電話をかけたり、インターネットにアクセスしたり、支店に行ったりすることで a. と b. は成し遂げられる。取引費用がもっとも高いのは c. 家族経営の会社の株式だ。なぜなら、買い手を見つけるには時間と資源を費やさなければならないからだ。
 - (ii) リスクの大きさ リスクがもっとも小さいのは a. 銀行預金だ。これらの預金は連邦預金保険公社 (FDIC) によって 25 万ドルまで保証されている。これよりリスクが若干大きいのは b. 投資信託だ。分散投資をしても、それでも投資信託を抱え込むリスクを切り離すことはできない。もっともリスクが大きいのは c. 家族経営の会社の株式だ。この投資は分散されていないからだ。
 - (iii) 流動性の高さ 流動性がもっとも高いのは a. 銀行預金だ。引き出しは通常、即座にできるからだ。これより若干流動性が低いのは b. 投資信託だ。保有する株式を売却し支払いを受けるまでには数日間かかるだろう。もっとも流動性が低いのは c. 家族経営の会社の株式だ。家族全員の同意がなければ売却できないし、買い手を見つけるにしても時間を要するからだ。
2. 経済発展と経済成長は、とりわけ物的資本への投資支出の賜物だ。投資支出は貯蓄と等しいから、貯蓄額が増えれば増えるほど投資支出も増えていって、さらなる経済成長

と経済発展につながるだろう。だから、貯蓄を促進するような制度があることは、一国が経済成長と経済発展を遂げるうえで助けとなるだろう。その結果、取引費用を低く抑えたり、リスク分散の機会を与えたり、預金者たちの流動性を高くしたりする金融システムがある国は、こうした金融システムがない国よりも速やかに経済成長と経済発展を遂げるだろう。

理解度チェック 13-3

1.
 - a. 今日の株価は将来の株価について市場が抱く予想を反映する。しかも、効率市場仮説によると、株価は入手可能な情報すべてを常に取り入れている。今年の利潤は低いという事実は新情報ではないから、この情報はすでに株価に組み込まれている。しかしながら、来年の利潤は高くなりそうだという情報が広まると、1株当たりの株価は新情報を反映して今日上がるだろう。
 - b. 今年は高利潤だという投資家の予想は株価にすでに組み込まれている。だが利潤は予測・公表した額より少ないという発表によって、会社の将来株価に対する市場の予測は下方修正されるだろう。よってこの新情報で株価は下がることになる。
 - c. 同じ産業に属する他の会社が、今年の売り上げは思いのほか伸びないと発表すると、投資家たちはおそらく、この会社の売り上げも思いのほか伸びない、と結論を出すだろう。その結果、投資家は将来の利益と株価に対する予想を下方修正するから、この新情報は今日の株価を下げることになる。
 - d. この発表は会社の株価に影響を与えないか、与えるとしても微増させるだけだろう。利潤予想が正確かどうかはまだ不確定だから、新情報は何も加わっていない。したがって、株価は上昇しないか、したとしても微増という結果になるはずだ。
2. 効率市場仮説によると、入手可能な情報はすべて即座に株価に取り入れられる。だから、Dow Jones Industrial Average が1%上昇した翌日には投資家が必ず株を購入するならば、聡明な投資家はその日に売るだろう。なぜなら、需要——つまり株価——は上昇するからだ。このようにして利潤が確定されるならば、結局多くの投資家は株を売ることにするだろう。すると、Dow Jones Industrial Average が1%上昇した翌日には投資家は常に株を購入するという主張は成立しなくなる。

Chapter14 総需要と総供給

理解度チェック 14-1

1. a. 総需要曲線の左シフトが生じる。貨幣供給量の減少は利子率を上昇させる。なぜなら、人々は借入れを多くし、貸し出しを少なくすることを望むからだ。高い利子率は、どの物価水準においても投資支出と消費支出を減らす。だから、総需要曲線は左シフトする。
- b. 総需要曲線に沿った左上への移動が生じる。インフレの上昇は利子率効果をとおして投資支出と消費支出を低下させる。だから、総需要曲線に沿った左上への移動だ。
- c. 総需要曲線の左シフトが生じる。労働市場が悪化し、ひいては平均可処分所得が低くなるという予想は、どの物価水準においても今日の消費支出を減らす。だから、総需要曲線は左シフトする。
- d. 総需要曲線の右シフトが生じる。税率が下がると、人々の可処分所得は上がる。どの物価水準においても、消費支出は高くなる。だから、総需要曲線は右シフトする。
- e. 総需要曲線の右シフトが生じる。実質不動産価値の急騰によって経済の資産の実質価値が上がると、どの物価水準においても消費支出を上昇させる。だから、総需要曲線は右シフトする。

理解度チェック 14-2

1. a. *SRAS* 曲線に沿った移動が生じる。なぜなら、GDP デフレーターや消費者物価指数は、物価水準を測定するもの、つまり経済の最終財・サービスの価格水準全体を測定するものだからだ。
- b. *SRAS* 曲線のシフトが生じる。なぜなら、原油は原料だからだ。生産費用は前より低くなり、その結果どの物価水準でも産出物の総供給量は増加するから、*SRAS* 曲線は右シフトする。
- c. *SRAS* 曲線のシフトが生じる。なぜなら、名目賃金の変化と関係するからだ。退職給付金が義務づけられたことは、労働者にとって名目賃金が増えることと同じことだ。その結果、生産費用は前より高くなり、どの物価水準においても産出物の総供給量は減少するから、*SRAS* 曲線は左シフトする。

2. 物価水準に何が生じているかを把握する必要がある。総供給量の増加が *SRAS* 曲線に沿った移動によって生じるものならば、総供給量が増えると物価水準も上昇するだろう。総供給量の増加が *LRAS* 曲線の右シフトによるものならば、物価水準は上がらないだろう。もしくは、長期でみたときに何が起こるかを観察すればよい。長期では総産出量が最初的水準に戻るならば、総産出量の一時的な増加は *SRAS* 曲線に沿った移動によるものだ。長期でみても総産出量が高い水準にとどまるならば、総産出量の増加は *LRAS* 曲線の右シフトによるものだ。

理解度チェック 14-3

1.
 - a. 最低賃金の上昇は名目賃金を上昇させ、結果として短期総供給曲線を左シフトさせる。この負の供給ショックの結果、物価水準は上昇し、総産出量は減少する。
 - b. 高まる投資支出は総需要曲線を右シフトさせる。この正の需要ショックの結果、物価水準も総産出量も上昇する。
 - c. 税負担の増大と政府支出の削減の両方ともが負の需要ショックにつながり、総需要曲線を左シフトさせることになる。その結果、物価水準も総産出量も下落する。
 - d. これは負の供給ショックだから、短期総供給曲線を左シフトさせる。その結果、物価水準は上がり、総産出量は下落する。
2. 生産性の上昇が、潜在産出量を増加させるにつれて、長期総供給曲線は右シフトする。仮に短期において、不況ギャップ（総産出量が潜在産出量よりも小さい）があるならば、名目賃金は下がり、短期総供給曲線は右にシフトするだろう。これは物価水準の下落と総産出量の上昇につながる。価格が下落していくと、物価変動の資産効果と利子率効果によって総需要曲線に沿って移動することになる。結局、長期マクロ経済均衡が再び成立するから、総産出量は潜在産出量に等しくなるまで上昇するだろう。

理解度チェック 14-4

1.
 - a. インフレギャップがあるとき、経済は過熱状態にある。経済が長期マクロ経済均衡にあるときに拡張的金融政策あるいは拡張的財政政策が実施されると、こうした事態が生じる。総需要曲線は右シフトし、短期には物価水準と総産出量が上昇してインフレギャップが生じる。が、長期には名目賃金が増加して、短期総供給曲線は左シフトする。そして、総産出量は潜在産出量まで落ち込むだろう。これが設問にある主張者が思い描くシナリオだ。
 - b. ノーだ。これは妥当な議論でない。経済が長期マクロ経済均衡にないとき、拡張的

金融政策あるいは拡張的財政政策は上述のような結果を導かない。負の需要ショックによって総需要曲線が左シフトし、不況ギャップが生じるとしよう。拡張的金融政策あるいは拡張的財政政策を用いて、総需要曲線を長期マクロ経済均衡のもともとの位置にシフトさせることは可能だ。このようにして、当初の負の需要ショックによって引き起こされる短期的な総産出量の低下とデフレを回避することができる。だから、需要ショックに応じて金融政策あるいは財政政策が実行されるならば、これらの政策は効果的だ。

2. 利子率の引き下げを主張した FRB の内部の人々は、住宅バブルの崩壊によって引き起こされた負の需要ショックを和らげるために、総需要を押し上げることに重点を置いた。利子率の引き下げは総需要曲線の右シフトにつながり、物価水準を上げる以外にも総産出量を押し上げる。利子率を安定した状態でとどめることを主張した人々は、負の需要ショックによる総需要の冷え込みに対処しようとする、インフレの上昇につながる可能性があるという事実を重視した。利子率を安定した状態に保つことは、長期的には物価水準と総産出量は負の供給ショック以前の水準に少しずつではあるけれども戻っていくという、経済の自己修正的な力を拠り所としている。